

若者が考える「日中の未来」Vol.5

中国における日本文化の流行

—学生懸賞論文集—

若者が考える「日中の未来」シリーズ第五弾！
2018年の第7回「宮本賞」（日中学生懸賞論文）の
受賞作14本を全文掲載。

日中の若者がいま何を考えているか？

2018年に日本日中関係学会が募集した第7回宮本賞（日中学生懸賞論文）では、「学部生の部」に35本、「大学院生の部」に29本、合計64本の応募がありました。本書では、受賞論文14本を全文掲載し、皆様にお送りします。

今回の授賞論文では、日本の文化、日本の援助外交、日本の文化財保護、日本の介護ビジネスなど、日本のすばらしさをテーマにとりあげた論文が目立ちました。また時代を反映してモバイル決済、ロボット、ベンチャー企業といったIT・ネット関係の論文も多く登場してきております。

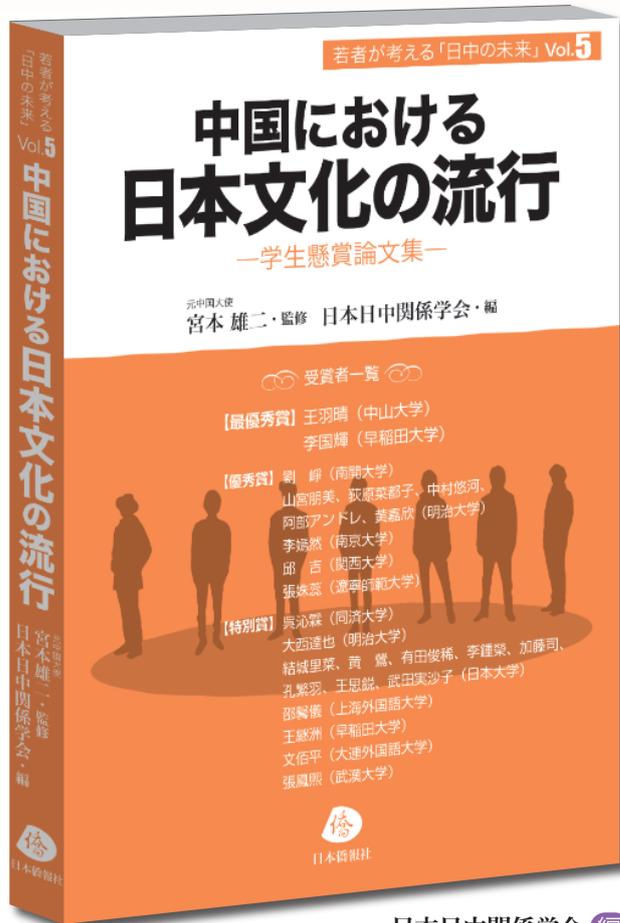
いずれの論文にも、若者らしい斬新な切り口と興味深い分析が溢れており、これから日中関係を発展させていくうえで、貴重なヒント、手掛かりを提供してくれるものと確信しております。

本書掲載 第7回宮本賞 受賞者一覧

- 【最優秀賞】 王羽晴（中山大學）、李國輝（早稲田大學）
- 【優秀賞】 劉崢（南開大學）、山宮朋美、萩原菜都子、中村悠河、阿部アンドレ、黃嘉欣（明治大學）、李嫣然（南京大學）、邱吉（陝西大學）、張姝蕊（遼寧師範大學）
- 【特別賞】 吳沁霖（同濟大學）、大西達也（明治大學）、結城里菜、黃鶯、有田俊稀、李鍾榮、加藤司、孔繁羽、王思銳、武田実沙子（日本大學）、邵馨儀（上海外國語大學）、王繼洲（早稲田大學）、文佰平（大連外國語大學）、張鳳熙（武漢大學）

シリーズ好評発売中！

- 第一弾 『日中間の多面的な相互理解を求めて』
- 第二弾 『日中経済交流の次世代構想』
- 第三弾 『日中外交関係の改善における環境協力の役割』
- 第四弾 『日中経済とシェアリングエコノミー』



日本日中関係学会 編
元中国大使 宮本 雄二 監修

宮本 雄二（みやもと ゆうじ）1969年外務省入省。以降3度にわたりアジア局中国課に籍を置くとともに、北京の在中華人民共和国日本国大使館駐在は3回を数える。90年から91年には中国課長を、2006年から10年まで特命全權大使を務める。このほか、85年から87年には軍縮課長、94年にはアトランタ総領事、01年には軍備管理・科学審議官、02年には駐ミャンマー特命全權大使、04年には沖繩担当大使を歴任。現在は宮本アジア研究所代表、日中友好会館会長代行、日本日中関係学会会長。著書に『これから、中国とどう付き合うか』（日本経済新聞出版社）、『激変ミャンマーを読み解く』（東京書籍）、『習近平の中国』（新潮新書）、『強硬外交を反省する中国』（PHP新書）。

ご注文は、全国の書店、アマゾンなどをご利用いただけます。トーハン 日販 その他 取次コード：5752

 <p>中国における日本文化の流行</p> <p>ISBN 978-4-86185-271-8 発行日：2019年4月25日 A5判 196頁 並製 定価：本体3000円+税</p>	<p>注文部数</p>	<p>ご注文 / 番線印</p> <p>注文部数、住所 〒、氏名、電話番号をご記入ください</p>
	<p>部 (送料無料)</p>	
<p>送信 FAX 03-5956-2809</p>		